

## O-16

### 大豆由来低分子K・リゾレシチンの精神疾患改善に及ぼす影響

○銀谷 翠<sup>1)</sup>, 神津 健一<sup>2)</sup>

1) 医療法人社団・一友会 ナチュラルクリニック代々木 院長,

2) NPO法人 予防医学・代替医療振興協会 理事長

A Lot of patients with mental disorders such as depression,autism,ASD,schizophrenia and dementia improved clinically by soy-bean extracts *K-lyso lecithin*,acetylcholinelike food.

#### 【目的】

精神疾患の患者に、向精神薬を投与して治癒するケースは初期のうつ症状を除き極めて稀であるため、脳の神経組織にとっては欠かすことのできない神経伝達物質（サプリメントで低分子のK・リゾレシチン）を投与し、経過を観察した。

#### 【方法】

K・リゾレシチン（生ジェリータイプを1包＝2 g）を1日3回、食前に摂取すると同時に、日常的に摂取している白米やパン食、牛乳を可能な限り、摂らないように心掛けてもらった。そして出来る限り、玄米食に変え、青魚、野菜や大豆食を中心に摂るように指導した。

#### 【結果】

患者は症状、年齢、日常の食生活、服薬量、服薬歴などによって、改善、回復の度合いが異なったが、服薬していない患者の場合だと早い者では約1週間、平均2～3週間で改善が見られたが、多量服薬中の患者の場合は、徐々に減薬しなければならず、減薬方法も症状や服薬量、服薬歴によって大きく差が出た。一般的に減薬が開始できるのは、服薬量が少ない者で平均2～3ヶ月目、多量服薬者の場合は3ヶ月以上かかる。また、サプリメントの摂取量を倍にして摂取した場合の方が改善率が高かった。

#### 【結論】

来院当初から向精神薬の服薬歴がない者の改善・回復は極めて早く、服薬量と服薬歴の長い患者ほど減薬に時間がかかり、それに伴い、改善・回復も遅れた。しかし、いずれも、服薬のみ治療を続けていた頃と較べると大きく改善が見られた。K・リゾレシチンのデトックス効果は既に米国のMITの最先端科学技術センターによって認められており、根気良く、K・リゾレシチンの摂取を継続した患者の90%以上が、改善し、回復した。